磐田市総務部情報政策課
電話　0538-37-4818

子どもをネット危機から守るスマホ・ネット講座　最終回

家庭でのルール作りとその実践が大切！
大人も子どもと一緒に考えましょう

便利というよりあるのが普通

これまで１年間、子どもたちがインターネットやスマートフォンを安心して安全に使うためのお話をたくさん御紹介してきましたが、いかがでしたでしょうか。

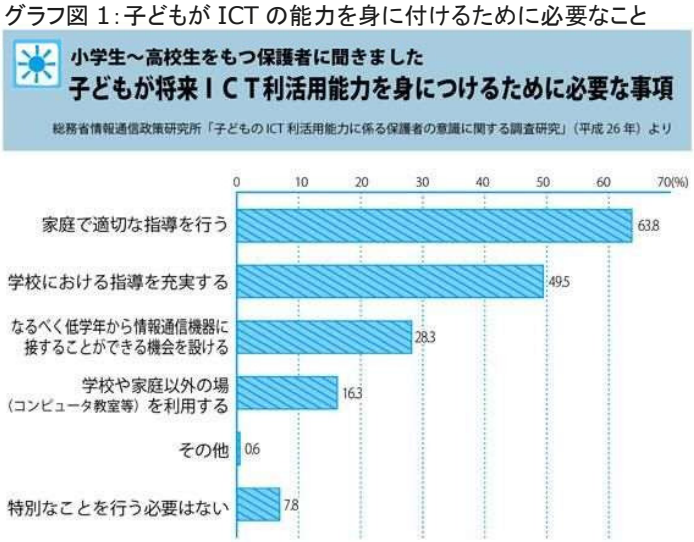
今の子どもたちは、生まれたときには携帯電話が既に身近にあった世代です。そして、もの心がついたときには、目の前に世界とつながるスマホがあったかもしれません。

このため、ネットやスマホは大人にとっては便利なものでも、子どもにとっては普段の生活にあって当たり前のものとなっていることもあります。

「あの商品の値段を調べてみよう！」、「何時に出れば間に合うかな？」など、大人は何か必要があってネットやスマホを使うことが多いと思いますが、子どもは（大人から見ると）特に必要がなくても何気なくスマホを使ったり、ネットの存在や特徴を意識しないで、メッセージや自分の名前、写真なども無防備に相手に送ったりしてしまうこともあります。

６割が家庭での指導の必要性を感じ、半数が実際に教えている

グラフ図１：子どもが ICT の能力を身に付けるために必要なこと



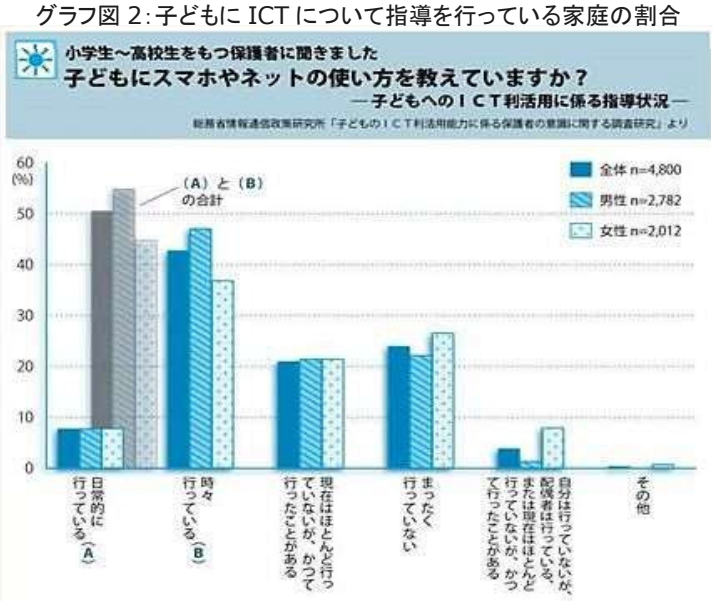
例えば、交通ルールやマナーを知らずに自動車を運転すると、周りに迷惑をかけるばかりでなく、自身がケガをしたり他人を傷つけてしまったりすることもあり、とても危険ですよね（そもそも免許が必要ですが･･･）。ネットやスマホの利用でも、子どもたちがルールやマナーをしっかり学んで、もし危険が近寄ってきても身を守れるよう、大人も気を配る必要があります。

総務省が保護者を対象に行った調査によると、子どもが ICT の能力を身に付けるために必要なこととして、**家庭での適切な指導**を挙げた保護者が６割以上もいました。

また、「家庭で子どもに ICT について（機器の操作やマナー・リスクなどの）指導を行っているか？」の質問に対して半数の保護者が「日常的又はときどきしている」と回答しており、多くの保護者が家庭での指導が大事と感じていて、実際にネットの危険性なども子どもに教えていることがわかりました。

イラスト：いらすとや

グラフ図２：子どもに ICT について指導を行っている家庭の割合



そこで、今回の連載のまとめてとして、改めて子どもがネットやスマホを利用する際の、**大事なこと、気をつけること、必要な対策**をまとめてみました。

家族と、友達と、ルールをつくりましょう

はじめに**大事なこと**についてです。

まず第一に、気をつけることや必要な対策の内容などをもとに、お子さんと一緒に家庭のルールを作ってみてください！

そして、いつも SNS やメールなどでやりとりをする友達とも共通のルールを作っていくといいと思います。また、お子さんがトラブルに遭いそうになったときや何か困ったときに一人で悩まず、すぐに大人に相談できるよう、日頃からお子さんとコミュニケーションをとっていい関係を築いておくことも重要です。

さらに子どもの異変に早めに気がつけるよう、お子さんの様子を見守ることも大切です。

大事なこと

① 家庭や友達と、ネットやスマホのルールを作りましょう！

② 困ったら一人で悩まないで、すぐに大人に相談しましょう！

次に**気をつけること、必要な対策**についてですが、とてもたくさんありますね。

気をつけること

① ネットやスマホの使いすぎに注意
→「スマホは夜○時まで」、「課金は大人の了解を」、「定期的に休憩を」

② やりとりや投稿は慎重に
→「誤解を与えないよう」、「将来の自分に影響が出ないよう」、「個人情報が漏れないよう」に
→友達や有名人の写真は、無断で投稿してはいけません

③ 不審なサイトやアプリは利用しない
→「ウイルス」に感染したり、「個人情報」が盗まれないように

④ 知らない人とは出会わない
→「なりすまし」、「誘い出し」にひっかかって、誘拐などにあわないように

⑤ おかしな画面が表示されても落ち着いて
→「ネット詐欺」にひっかからないよう、不審なメールや料金請求は無視

⑥ ながらスマホはしない
→「ケガ」や「事故」にあったり、「犯罪」に巻き込まれないように

⑦ 音楽やゲームなど、不正にコピーしたり他人に広めないこと

⑧ スマホの紛失に注意

必要な対策

① 不適切なサイトやアプリをブロック
→「携帯電話会社のフィルタリング」、「Wi-Fi（無線LAN）用にブラウザでフィルタリング」、「アプリ用のフィルタリング」、ゲーム機は「ペアレンタルコントロール機能」を利用

② 情報セキュリティ対策の実施
→ウイルス対策ソフト・サービスの利用、OS（AndroidやiOSなど）は最新の状態にアップデート

③ スマホの位置情報の設定を「OFF」に
→写真に位置情報が記録されないように

④ 画面ロック、携帯電話会社などの緊急連絡先を控えておく
→悪意ある人にスマホを拾われた場合に備えて

でも、実はこの２つの内容は、これまで１年間の連載内容をまとめたものなのです。

一度に全てを覚えたり、理解したりすることは子どもにとって大変なことと思います。ですが、ネットを使うことで迫ってくる危険、あるいは加害者になってしまう危険を、子どもが「自分で、**1 考えて 2 判断して 3 回避する**」ための知識をつけることが、とても大切です。

ここには、是非とも覚えていただきたい大事なことがぎゅっと凝縮されていますので、大人の方もお子さんと一緒に、しっかりと吸収していただければと思います。

一度ではなく、いろいろな機会に何度でも

これからの時代、ネットやスマホなど ICT の利用が、ますます進んでいくことから、子どもたち（大人も）にとってはその危険性についてしっかり理解しながら、便利に使いこなすことが必要になってきます。

第1回で御紹介したとおり、総務省では小学生～高校生、保護者、教職員の方々を対象に、無料の出前講座 e-ネットキャラバンを学校などで実施していますので、ネットやスマホのルール・マナー、必要な知識などの吸収のために、ぜひ御活用ください。また、携帯電話会社やネット関連企業・団体、自治体などで、さまざまな教室が各地で実施されています。一度受講したら終わりではなく、いろいろな機会を活用して、何度も学んでいただければ、と思います。

今回の連載が、お子さんが安心して安全にネットやスマホを利用できますよう、少しでもお役に立てれば幸いです。

（このコラムは、一般社団法人静岡県出版文化会発行の月刊ファミリスに東海総合通信局職員が寄稿した原稿を一部修正して掲載しています。）

出典：総務省ホームページ http://www.soumu.go.jp/soutsu/tokai/mymedia/28/0629.html

上記ページを元に磐田市情報政策課がレイアウト編集